



2022年11月22日

株式会社 阿波銀行

松本建設株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、松本建設株式会社（代表取締役 松本 正博、本社：徳島県阿波市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	松本建設株式会社
所在地	徳島県阿波市市場町興崎字北分 137 番地
代表者	松本 正博
業種	土木工事業
設立	1990年6月1日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年11月22日



松本建設株式会社 代表取締役 松本 正博

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
社会・経済	職場の安全衛生の向上	労働災害の防止のために、社員一人一人へ安全衛生に関する様々な機会を提供することに努めます。	① (1)社員の技術向上・安全配慮に努め、安全衛生パトロールを定期的を実施 (2)専門性の高い現場にて、丁寧な社員教育の実施	
			② (1)2023年度までに月10回実施 (2)2023年度までに月1回実施	
環境	ゴミ・廃棄物削減	未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル活動に努めます。	① (1)廃棄物の発生削減、分別処理の徹底 (2)営業所や倉庫照明のLED化	
			② (1)2025年度までに廃棄物の削減50%、事業用廃棄物の分別90% (2)2023年度までに100%	
社会・経済	企業の地域への貢献	雇用を通じた地域振興への貢献と、社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働きがいを感じられる環境を目指します。	① (1)地元人材の雇用促進による地域経済への貢献 (2)資格取得費用の補助	
			② (1)2027年度までに地元人材の雇用割合を50%から60%へ (2)2023年度までに、全社員へ資格費用補助制度の周知・活用促進	
社会	事故・不祥事への対応	ステークホルダーの利益を守るため、社内で事故や不祥事を未然に防止するとともに、万一発生時の誠実な対応を心がけます。	① (1)危機管理体制の整備と対応フローの制定 (2)対応方法についてすべての社員と共有	
			② (1)2025年度までに対処フローの検討を行い、社内にて通知 (2)2025年度までに全社員に通知・徹底	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。